## 令和2年度 大阪府立佐野高等学校 第1回学校運営協議会(報告)

記録 事務局

日 時 : 令和2年8月4日(火)までに意見聴取

場 所 : 書面による開催

参加者

<協議会委員> (敬称略)

大阪府立大学 大学院人間社会システム科学研究科 教授 伊井 直比呂本校 P T A会長 高山 晃彦本校同窓会会長 南 登章生泉佐野商工会議所 専務理事 上野 公義大阪大学大学院 人間科学研究科附属未来共創センター 特任教授 榎井 縁泉佐野市立佐野中学校 学校長 古谷 秋雄

## <事務局>

校長南部 潔教頭藤原 和美事務長佃 計司首席兼学習進路指導部長宮前 恵己首席兼総務生徒指導部長木村 明

## 送付資料:

- 1. 平成 31 年度 学校評価
- 2. 令和2年度 学校経営計画(案)
- 3. 国・大阪府の主な動きと佐野高等学校の取組み
- 4. 2020 年度 進路資料&進路の手引き
- 5. 2020 年度 進路資料&進路の手引き

(昨年までの進路資料との大きい変更点と佐野高の特徴)

6. ご意見聴取用 FAX

## 意見聴取内容:

- 意見:◇中期的目標である「海外修学旅行や英語圏アジア圏への研修の充実など」について、現在の新型コロナウィルス感染症拡大の状況の中では、今年度のみ変更してもよいのではないか。
  - 今年度はすべての海外研修および海外修学旅行を中止したが、オンラインを活用した交流を実施する予定である。将来的にも授業や特別活動におけるオンライン国際交流と現地での研修を組み合わせるなどして、目標の達成に努めたい。
- 意見:◇新型コロナウィルス感染症拡大のため、教育現場が多くの対応と対策を行っている。①学校現場と 家庭状況の把握、②その対応と対策や取組み、③生徒の変化にカウンセリングなどの対応、を今後 に生かしてほしい。
  - 学校現場では検温などにより教職員および生徒の健康の把握を契約している教育クラウドサービスを通じて毎日実施している。また、同サービスを活用して学校の情報を教員間で共有し、保護者や生徒へ発信するといった方法で、安心安全な学校運営に努めている。今年度は、校長マネジメント予算を活用し、カウンセリング回数を増加させて生徒や保護者の精神的なケアにも取り組んでいる。今後も、これらの対策や取組みを継続するとともに、新たな課題には迅速に具体的な対策を行っていく。
- 意見: ◇今後は、総合型選抜、学校推薦型選抜の他、大阪公立大学の 2022 年度入試から「ユネスコスクール 枠」などの多様な入試形態が登場する。そちらのほうの指導に向けた案内・情報も「進路指導の手引き」に掲載していただきたい。
  - 多様化する大学入試と生徒のニーズに対応できるように、今後も「生徒指導の手引き」の改訂にも

努めたい。

- 意見:◇資料「国・大阪府の主な動きと佐野高等学校の取組み」に記載されている実施内容は、ESD、SDGsが「教育内容」として扱われるだけでなく「誰一人取り残さない」教育を体現されたこととして、理解することができました。今後もユネスコスクール、ESD、SDGsの先進校として、地道な中にも気高い取組を継続されることを期待している。
  - ◇修学旅行先が変更となったが、北海道ならではの学びが待っているものと、心より応援している。
  - ◇京都大学大学院に在籍している卒業生が、今年2月に横浜で開催された「サステナブル・ブランド」という SDG s 会議&発表会分科会で、佐野高校ユネスコクラブでの取組み、ユネスコスクールの学校間交流や世界大会に関わった経験を通して自己の在り方を考えた内容の発表をされ、その学びの質が称賛されました。今後も、自己の在り方につながる佐野高校独特の取組みを期待している。
  - ◇改訂された「進路指導の手引き」では、より具体的な目標をもって日々を送り、3 年間の成長を自分でデザインしやすい内容になっておりました。特に、「3 年学力到達度テストと入試結果」の大学別一覧表は、生徒に具体的な目標を示すだけでなく、学校だからこそわかる合格生徒の学習プロセス及び点数と、在校生の「学習プロセス」と目標との関係を踏まえたオリジナルな指導を可能にすると思われる。具体的な目標を細かく設定すれば生徒の日々の学習への向き合い方も変わるのではないか。
  - ◇佐野高校の生徒は「しっかり自分は期待されている!」と認識したときに爆発的かつ継続的に力を 発揮する印象がある。「パーソナルベストを」という指導モットーは、まだ開花していない可能性 を発展させると同時に、個々に応じた指導で自分に向けられた期待を力に変えると思う。
  - ◇いち早く入学式や海外研修を中止し、安心安全に対応された取組みは非常に評価される。
  - ◇教育クラウドサービスや YouTube チャンネルの開設、ICT 教育推進・企画室を設立し、時代の変化に素早く対応した、柔軟で迅速な学校経営に感動した。
- ◎令和2年度学校教育計画が承認される。